



カラフル

ちがいは宝物 ～響かせよう！蟹江のハーモニー～

蟹江小学校だより

第13号

令和8年7月3日

発行者：佐古達哉

♪ 多様な「学び」を大切に

6月26日（金）の1時間目には、道徳（伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度、国際理解）または総合的な学習の時間（国際理解教育）の一環として、現在アメリカ・メキシコ・カナダで開催をされているサッカーの世界カップを各クラス・学年で観戦し、国を代表するチームの応援に盛り上がるスポーツイベントを知るとともに、各国の文化や大会を通じた人々の交流、また大会の歴史的背景等について、各学年の教科等の学習と関連付けた学びを深める時間を設けました。

当日の校内は、日本代表を応援しようと仲間と手作りの国旗をつくって応援したり、「日本！日本！」と声をそろえて応援したりする様子を見ることができ、普段の学校生活とは違った校内の雰囲気、いつも学校生活を支えてくださっている見守り隊の方からも、「こういう取組いいですねー」と温かいお言葉をいただくことができました。



10月には、5年生の子たちが「アジア・パラ愛知大会」の「ボッチャ」を会場で生観戦する機会も予定をしていますが、今後もこういったスポーツや文化的活動、そして6年生が精力的に実施をしているゲストティーチャーによる授業など、「多様な学びの場づくり」を大切にして、子どもたちの心身のより豊かな成長に努めていきたいと思えます。

♪ 「読書」を通じて…

6月には、PTAで募集したボランティアの皆さんによる「読み聞かせ」を、1～3年生で実施していただきました。多くのPTA会員の方のおかげで、ゆったりとした雰囲気の中、夢中になって聴く子どもたちの様子を見ることができました。お忙しい中にも関わらず活動へのご協力、本当にありがとうございました。

さらに、今年度から毎月「読書手帳・読書記録カード」の持ち帰りと周知を進め、保護者の皆様に確認にあたってコメントをいただいたところ、多くのお声をいただくことができました。その一部を紹介させていただきます。



【保護者のコメントから】

- たくさんの本を借りていることが分かり、何を read したのか分かる取組は、子との会話も増えるので助かります。
- 毎回、こんな本借りてきたよと楽しそうにしている、親子で読んで楽しんでいます。
- 図書室で本を借りて読むのが楽しいようです。家では本を読んでくれないので、この活動を通して本を読むことが好きになってくれたらと思います。
- 家では読まないジャンルの本を読んでいて驚きました。
- 家ではなかなか読書をできない(苦手なよう)なので、学校で本を読む機会があってありがたいと思います。記録の本を見て、子どもの興味ある分野なども知ることができて参考になりました。

昨今は世の中全体で「本離れ」が進んでいる状況があると言われますが、さまざまな工夫や協力を得ながら、子どもたちに「読書」や「本」の良さを知ってもらえるよう、学校・家庭・地域が連携をした取組が広がるよう努めていきます。ぜひご家庭でも、こういった機会を生かした取組をしていただき、その成果や感想についてアンケート等を通じて教えていただけると嬉しいです。

♪ 御寄付をいただきました

6月中旬に、私より年上になる本校の卒業生が学校におみえになり、地域からの支援者として長年町内の学校をさまざまな面から支えてくださっていること、さらに本校の校歌ができた経緯等についても、いろいろと教えていただける機会がありました。ご存じの方も多いと思いますが、本校の校歌は、山田耕筰による作曲、作詞はサトウハチローという、日本の音楽史を代表するお二人の制作によるもので、音楽教師の私にとっても大変興味深いお話を聞かせていただくことができました。



そんなお話を聴く機会をいただけただけでも光栄なことですが、その方からさらに温かいお心遣いをいただき、本校の教育活動に役立てられるよう「耕運機」と「草刈機」の御寄付をいただきました。早速御寄付をいただいた「耕運機」を使って、近年は運動場のどこにあるのか分からなくなっていた「砂場」を整備し直すことができ、体育の授業等での活用が進められるようになりました。

また、今回の御寄付とは別に、今年度初めに町内の全小中学校にもこの方から御寄付をいただき、本校にも凶工作品を保管する「作品乾燥棚」2つと、授業で活用することが多い「ホワイトボード」2つもいただきました。

さまざまな形で学校を応援していただける多くの「地域の応援団」の皆様の温かいお気持ちに答えられるよう、学校にまつわるさまざまな歴史や経緯を確実に受け継ぐことを大切に、さらに時代の変化・要請に合わせた、よき地域の担い手を育む学校づくりを進めていけるよう、精一杯努めていきたいと思っています。

